

平成26年度第1回内灘町次世代育成支援地域行動計画評価委員会 議事録（要旨）

日 時	平成26年5月29日（木） 13:30～15:00
場 所	内灘町役場4階 406会議室
出席委員	石橋久子（委員長）、番匠尚（副委員長）、南口政人、多田美代、中川訓子、北川まゆみ、斉藤史代、米田正明、前浜明子
事務局	松岡町民生活課長、中川町民生活課長補佐、山口町民生活課主事、本保健センター課長補佐、米田子育て支援センター所長、岩船子育て支援センター事務員、委託業者

1. 委員長挨拶

2. 議件

（1） 調査結果からの課題の抽出

※委員からの主な意見

- ・子育て世帯は広報に目を通さない人が多いため、スーパーや公民館、美容院などで情報収集できるようにしてはどうか。
- ・雨が降ったときの居場所と施設の点検、そしてそこに相談相手になるような人がいることが理想。コミュニティの広場、世代間交流の場を作っていくことが大切であり、公民館がその役割を果たしてくれるとよい。
- ・「多様な活動の体験やいじめのない学校など、すべての子どもがのびのびとできる教育環境」とあるが、どのようなことができるのか。

※事務局からの説明

- ・情報提供については、子育て支援センターでも情報提供しており利用する方は目にしていると思うが、多くの子育て世帯の方に目にしてもらえるよう検討する。
- ・子どもたちの公民館の利用については、生涯学習課とも連携して実現に向け検討していく。
- ・学校では人権や道徳教育にも取り組んでいる。昨年から子育て支援センターでは、中学生と赤ちゃんが触れ合える授業も始めており、人への思いやりや命の大切さについて学べるようにしている。また、親子との触れ合いで生徒自身の自己肯定感にも結びついている。

（2） 子ども・子育て支援事業計画の視点について

※委員からの主な意見

- ・子どもが社会に適応していくには、親自身もどこかにつながりを持つ努力をすべきである。また、それを手伝えるのが子育て支援者の役割である。

以上